

第 3 章
子育て支援サービスの現状と
今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

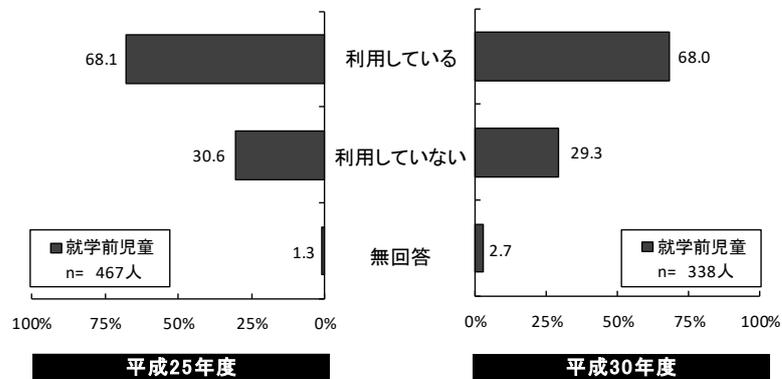
(1) 平日の定期的な教育・保育事業

定期的な教育・保育事業の利用状況は「利用している」が68.0%、「利用していない」が29.3%となっています。

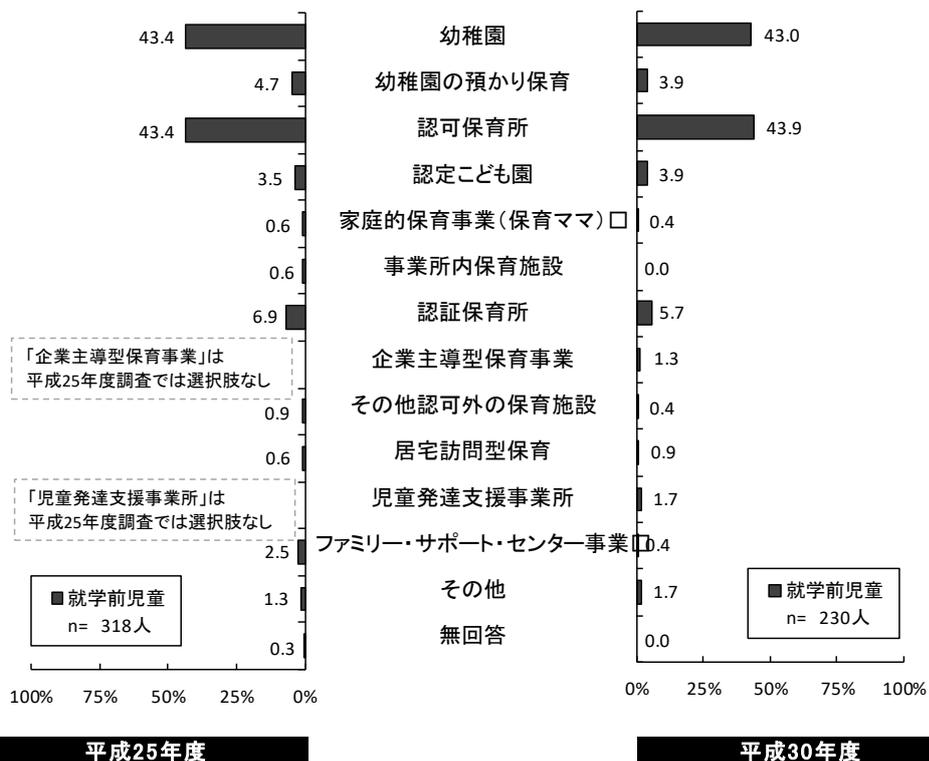
利用中の事業は、「認可保育所」が43.9%、「幼稚園」が43.0%となっています。

利用状況および利用中の事業ともに、前回とほぼ同様の傾向となっています。

問 15 定期的な教育・保育事業の利用状況【経年比較】

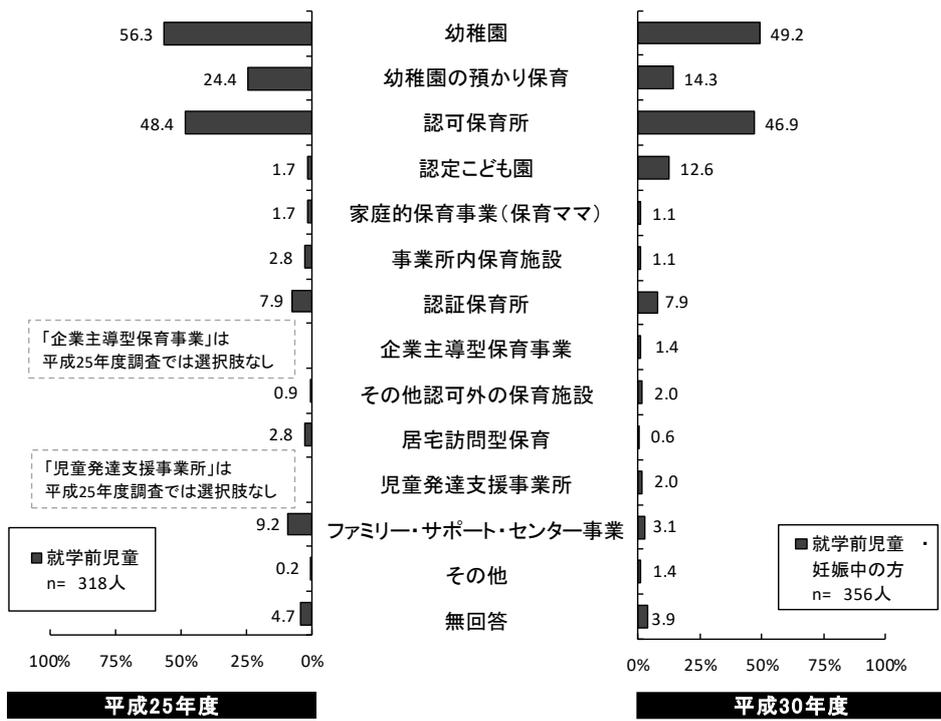


問 15-1 利用中の定期的な教育・保育事業【経年比較】



今後の利用希望では「幼稚園」(49.2%)が最も多く、「認可保育所」(46.9%)、「幼稚園の預かり保育」(14.3%)、「認定こども園」(12.6%)となっています。
 前回調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」や「幼稚園」などで減少しています。

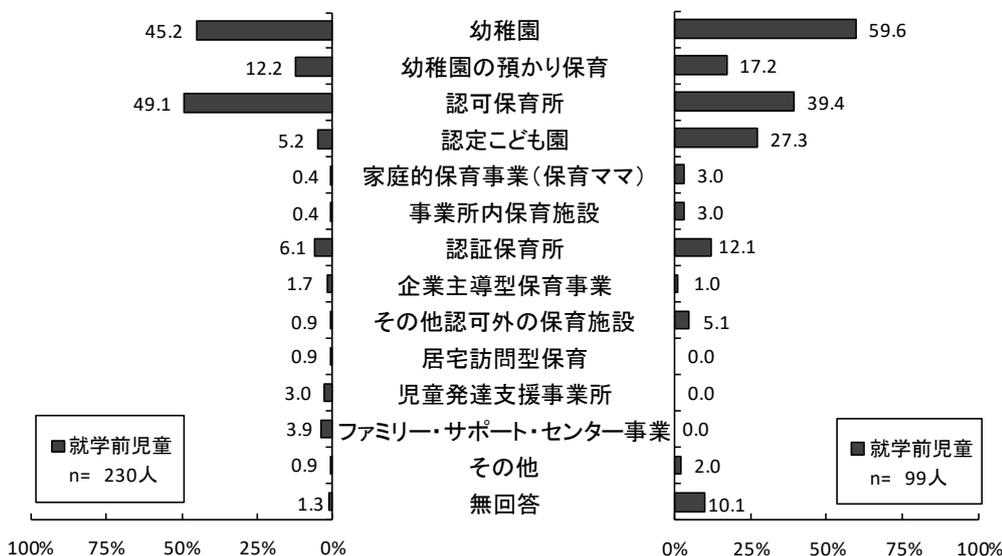
問 16 希望する定期的な教育・保育事業【経年比較】



※ 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合の事業
 ファミリー・サポート・センター事業：会員登録した地域住民が子どもを預かる事業

現在利用者の希望する教育・保育事業

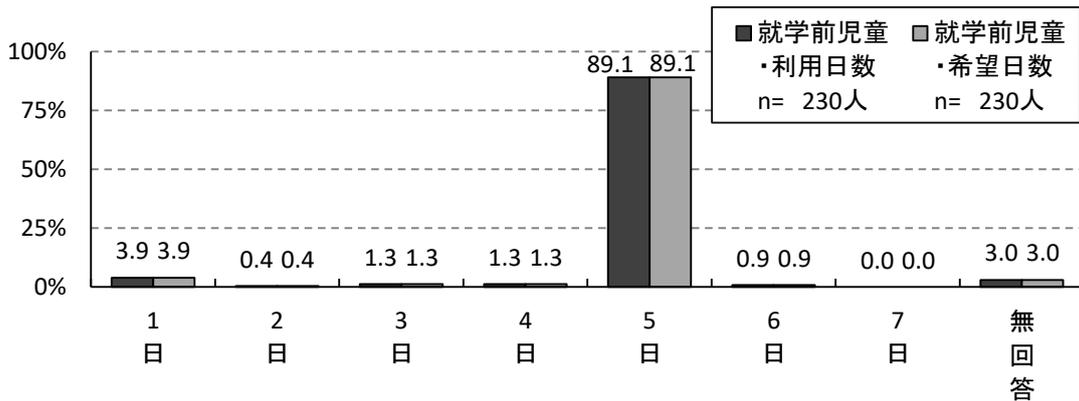
現在未利用者の希望する教育・保育事業



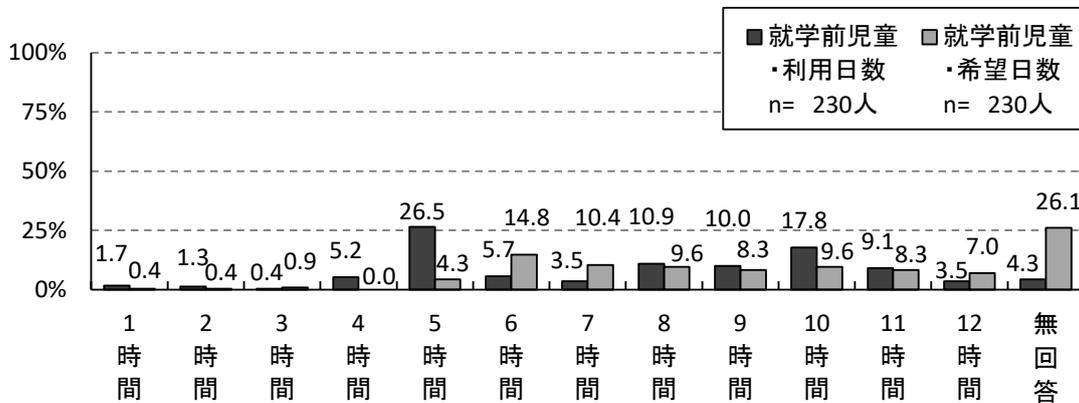
定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用日数・希望日数ともに「5日」（89.1%）が最も多くなっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「5時間」（26.5%）、希望では「6時間」（14.8%）が最も多くなっていますが、「5時間」～「12時間」の間で多様な希望となっています。

問 15-2 (1)-1(2)-1 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）



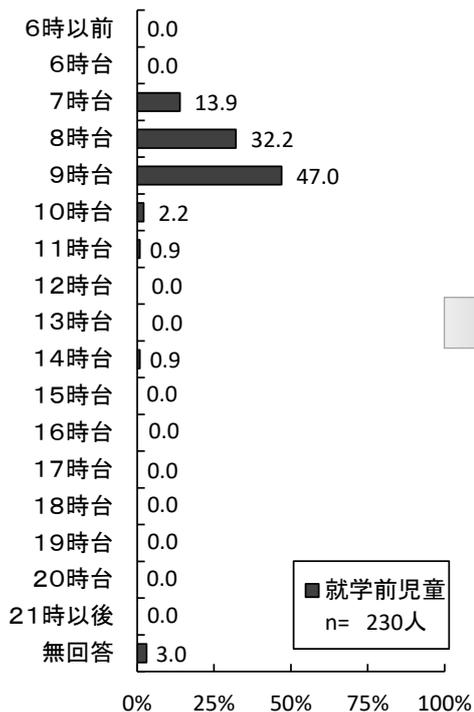
問 15-2 (1)-2(2)-2 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



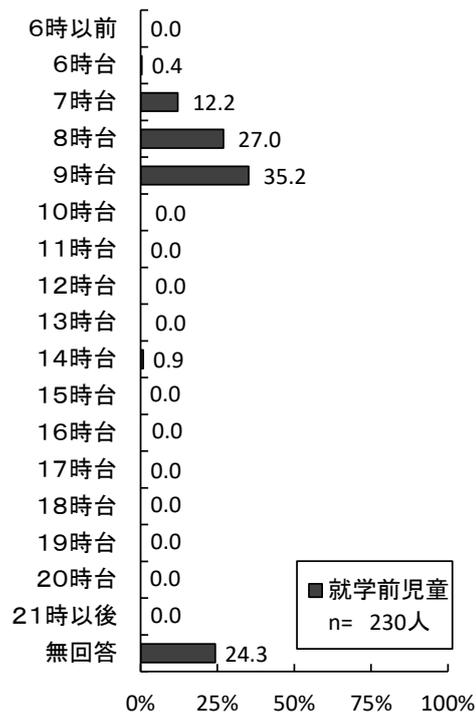
定期的な教育・保育事業の利用開始時間と利用終了時間は、開始時間では「9時台」(47.0%)、「8時台」(32.2%)、希望開始時間も「9時台」(35.2%)、「8時台」(27.0%)が多くなっています。

終了時間は「14時台」(28.7%)、「18時台」(23.0%)が多く、希望終了時間は、「15時台」(17.4%)、「18時台」(15.7%)となっています。

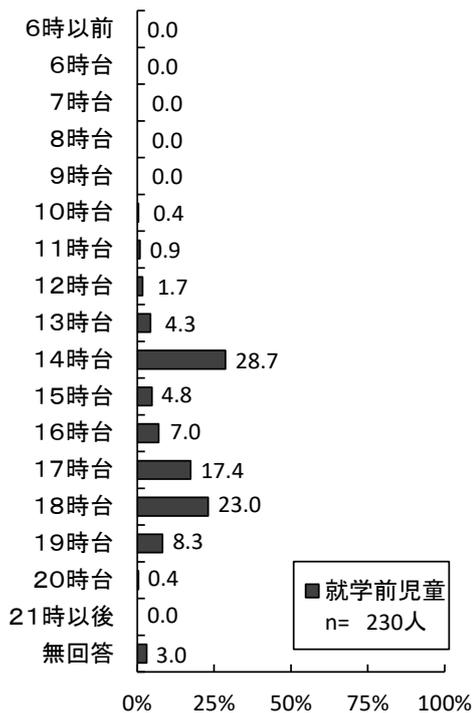
問 15-2 (1) 利用開始時間



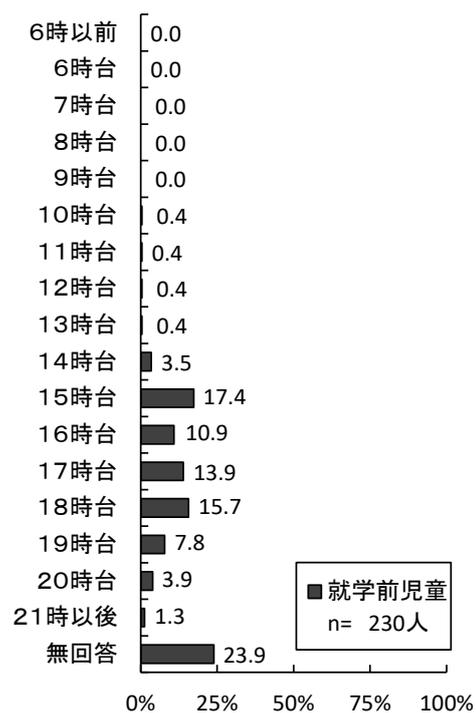
問 15-2 (2) 希望開始時間



問 15-2 (1) 利用終了時間

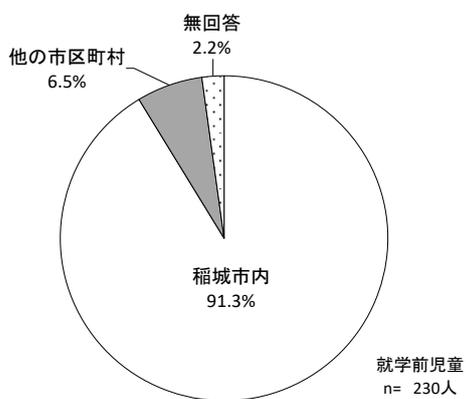


問 15-2 (2) 希望終了時間

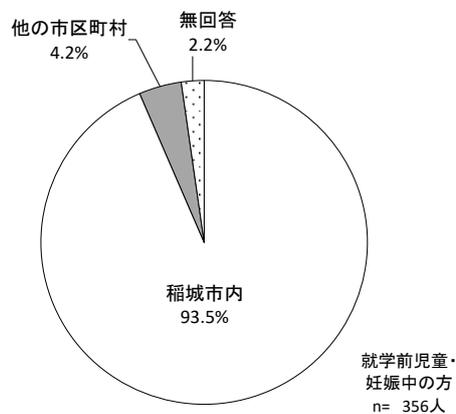


定期的な教育・保育事業の教育・保育施設の実施場所は、「稲城市内」(91.3%)、希望実施場所も「稲城市内」(93.5%) となっています。

問 15-3 教育・保育の実施場所



問 16-1 教育・保育の希望実施場所

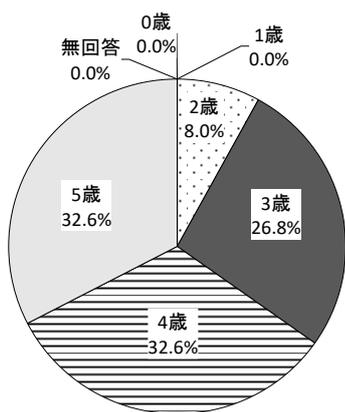


(2) 幼稚園

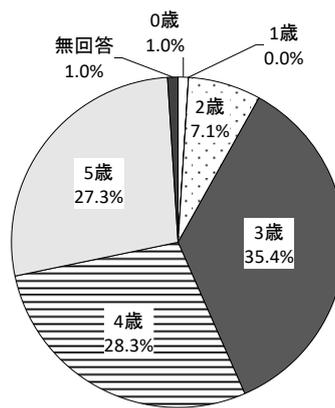
幼稚園の年齢別利用者は、「3歳」(35.4%)、「4歳」(28.3%)、「5歳」(27.3%)
 となっています。

前回調査と比較すると、「3歳」が増加しています。

問 15-1. ① 幼稚園の年齢別利用者数【経年比較】



平成25年度



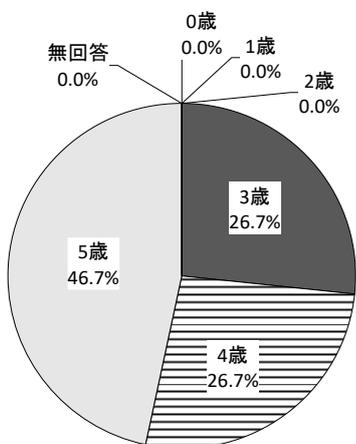
平成30年度

(3) 幼稚園の預かり保育

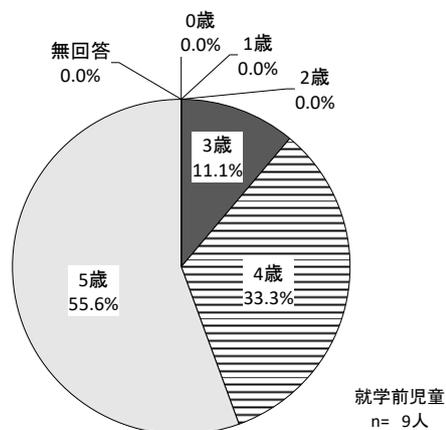
幼稚園の預かり保育の年齢別利用者は、「5歳」(55.6%)、「4歳」(33.3%)、
 「3歳」(11.1%) となっています。

前回調査と比較すると、「3歳」で減少し、「4歳」「5歳」では増加していま
 す。

問 15-1. ② 幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数【経年比較】



平成25年度

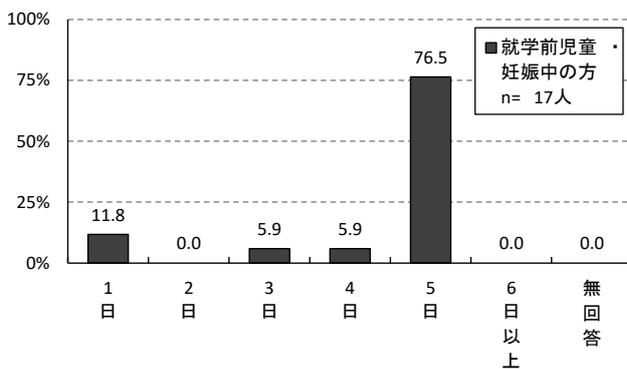
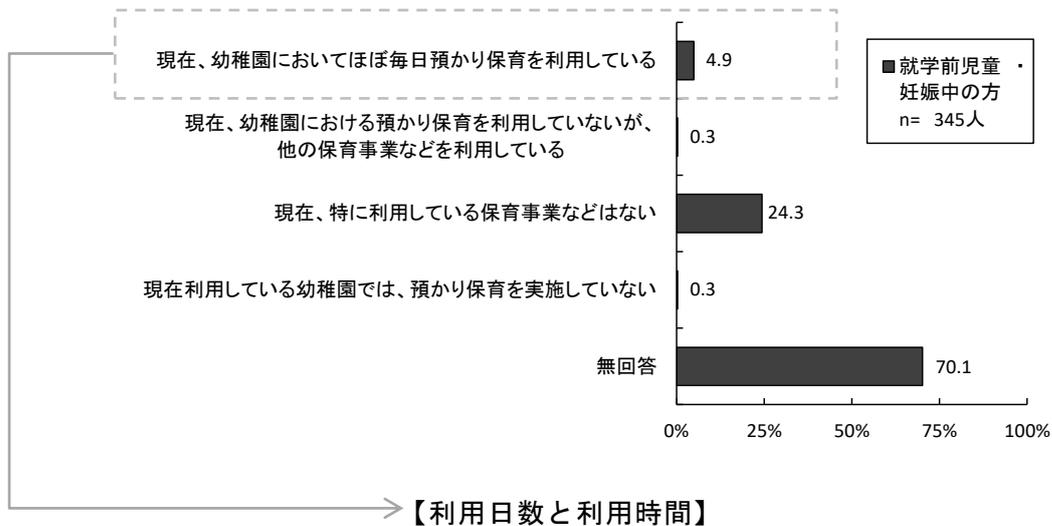


平成30年度

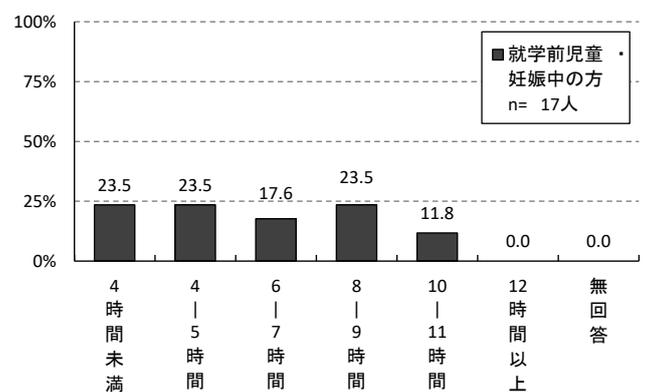
現在、母親または父親が就労している方で、現在の幼稚園における預かり保育の利用状況は、「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」は4.9%となっています。

預かり保育の1日当たりの利用日数は、「5日」(76.5%)が最も多くなっています。また、1日当たりの利用時間は、「4時間未満」「4~5時間」「8~9時間」(各23.5%)となっています。

問 17-1 幼稚園における預かり保育の利用状況



利用日数 (1週当たり)

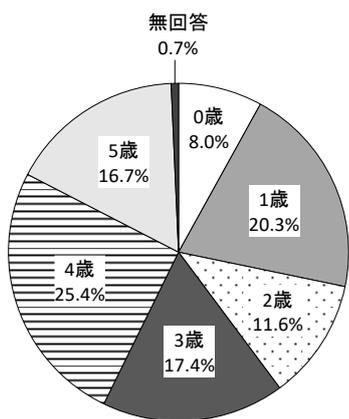


利用時間 (1日当たり)

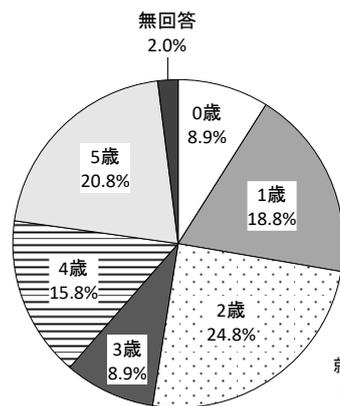
(4) 認可保育所

認可保育所の年齢別利用者は、「2歳」(24.8%)、「5歳」(20.8%)、「1歳」(18.8%)となっています。
 前回調査と比較すると、「2歳」が増加し、「4歳」が減少しています。

問 15-1. ③ 認可保育所の年齢別利用者数【経年比較】



平成25年度

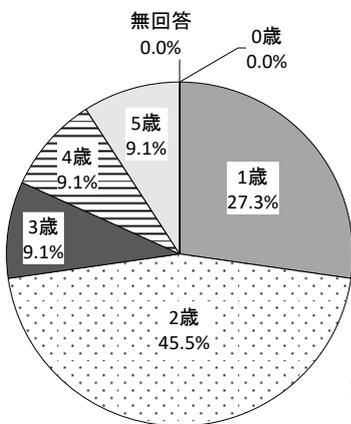


平成30年度

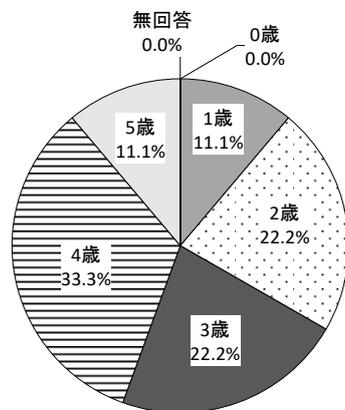
(5) 認定こども園

認定こども園の年齢別利用者は、「4歳」(33.3%)、「2歳」「3歳」(各 22.2%)となっています。
 前回調査と比較すると、「2歳」が大幅に減少し、「4歳」が増加しています。

問 15-1. ④ 認定こども園の年齢別利用者数【経年比較】



平成25年度

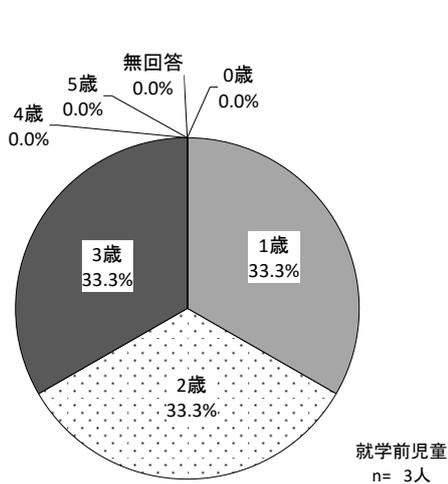


平成30年度

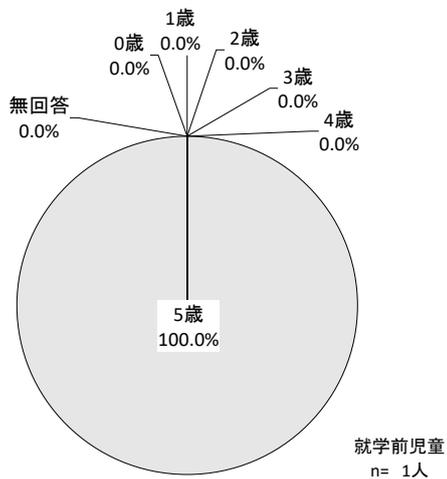
(6) その他認可外保育施設

その他認可外保育施設の年齢別利用者は、「5歳」(100.0%)となっています。

問 15-1. ⑤ その他認可外保育施設の年齢別利用者数【経年比較】



平成25年度



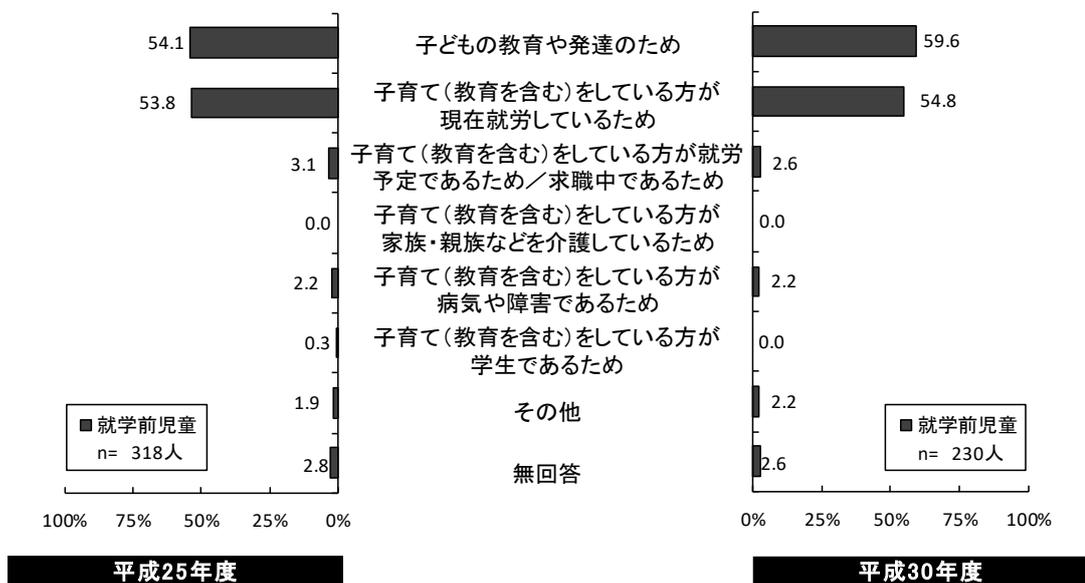
平成30年度

(7) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(59.6%)、「子育てをしている方が現在就労している」(54.8%)が多くなっています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」「子育てをしている方が現在就労しているため」が増加しています。

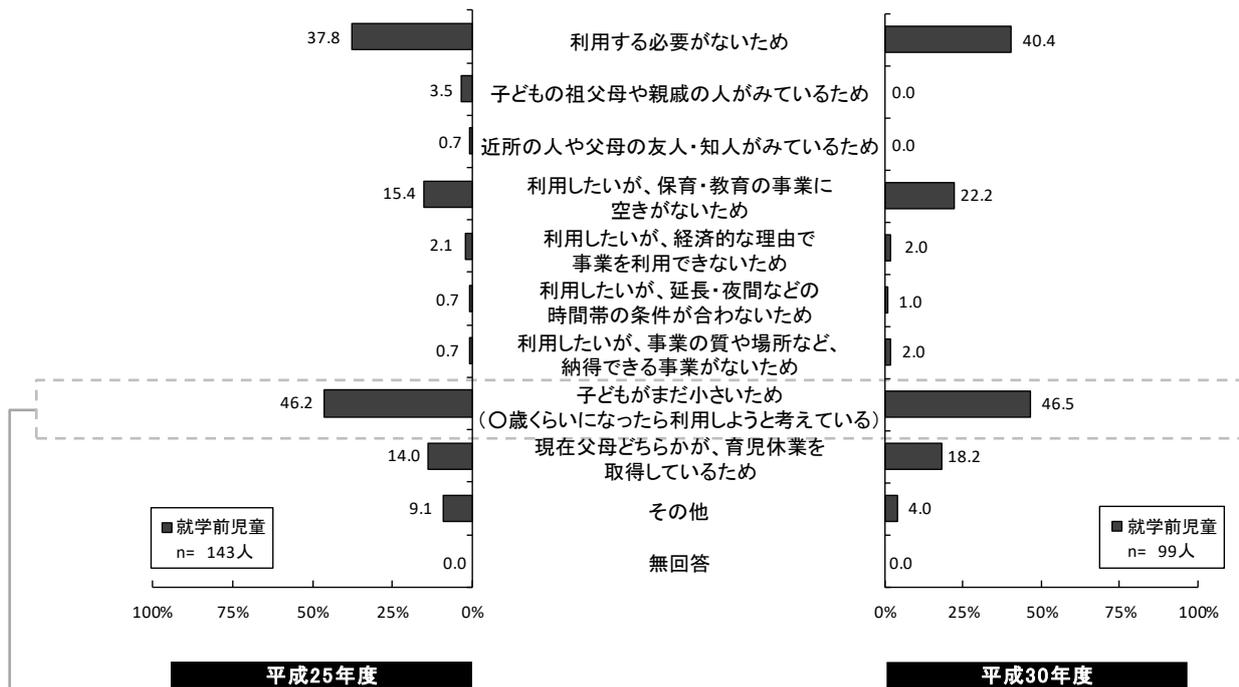
問 15-4 定期的な教育・保育事業を利用している理由【経年比較】



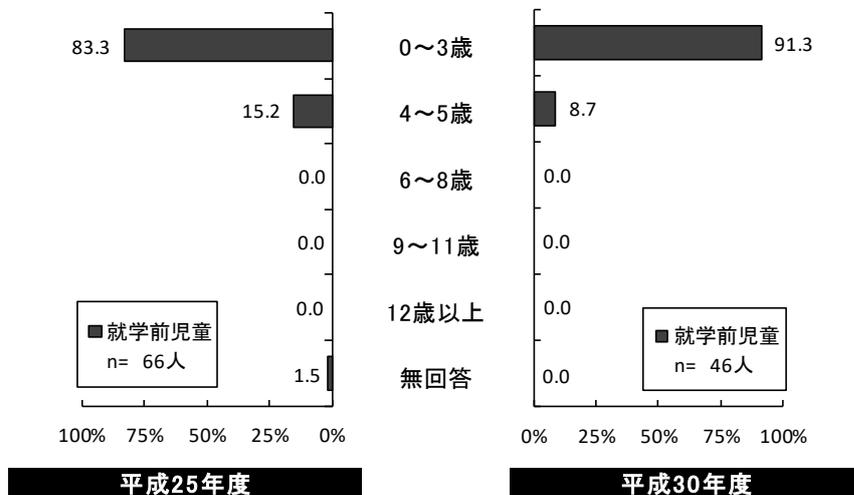
利用しない理由は、「子どもがまだ小さいため」(46.5%)、「利用する必要がないため」(40.4%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」(22.2%)の順になっています。いずれも前回調査と比べて増加しています。

利用を希望する子どもの年齢は、「0～3歳」(91.3%)が最も多くなっています。

問 15-5 定期的な教育・保育事業を利用しない理由【経年比較】



問 15-5⑧ 利用を希望する子どもの年齢【経年比較】

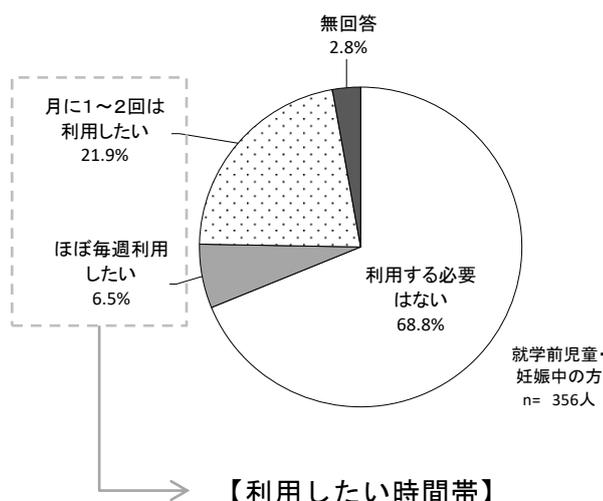


(8) 休日の教育・保育事業の利用意向

土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」(68.8%)が最も多くなっていますが、「月に1~2回は利用したい」(21.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(6.5%)と、28.4%の利用意向があります。

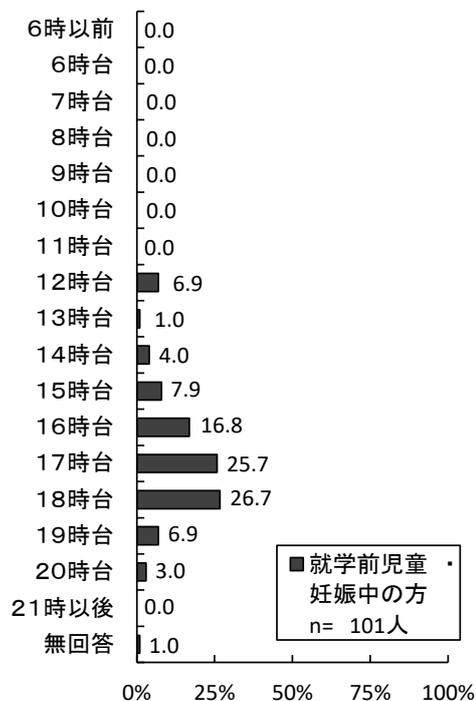
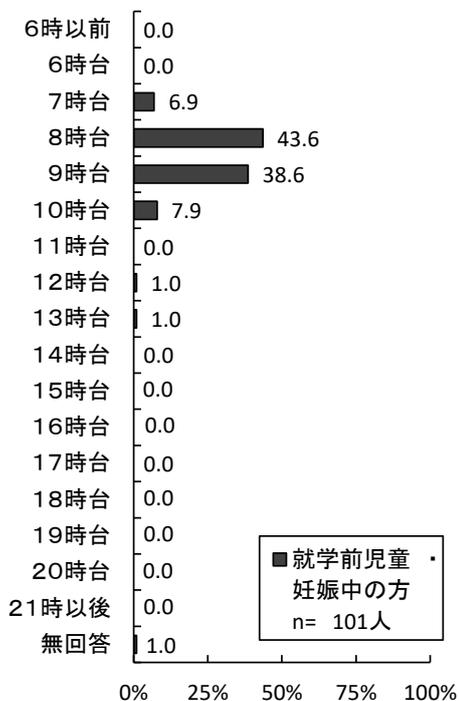
また、利用希望の開始時間は「8時台」(43.6%)、「9時台」(38.6%)、終了時間は、「18時台」(26.7%)、「17時台」(25.7%)となっています。

問 20(1) 土曜日の利用希望



問 20(1).1 土曜日の利用希望開始時間

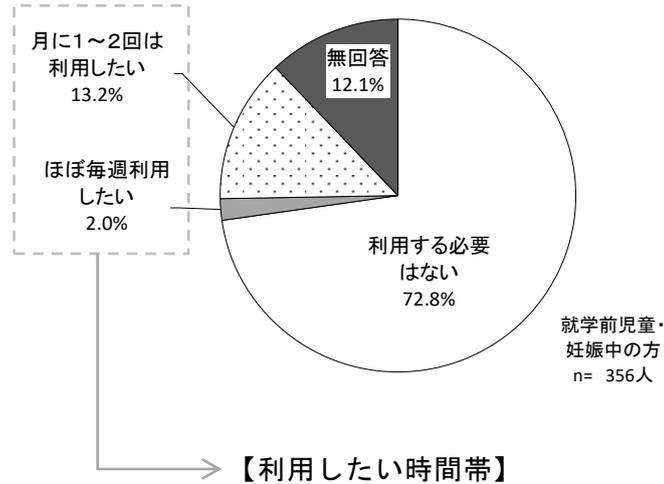
問 20(1).2 土曜日の利用希望終了時間



日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」(72.8%)が最も多くなっていますが、「月に1~2回は利用したい」(13.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.0%)と、15.2%の利用意向があります。

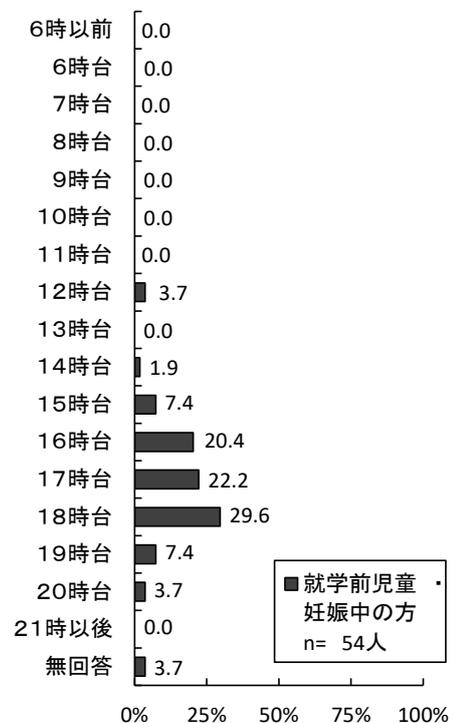
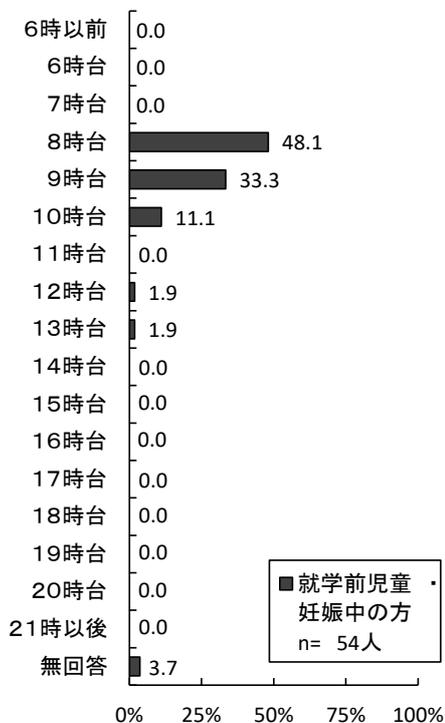
また、利用希望の開始時間は「8時台」(48.1%)、「9時台」(33.3%)、終了時間は、「18時台」(29.6%)、「17時台」(22.2%)となっています。

問 20(2) 日曜・祝日の利用希望



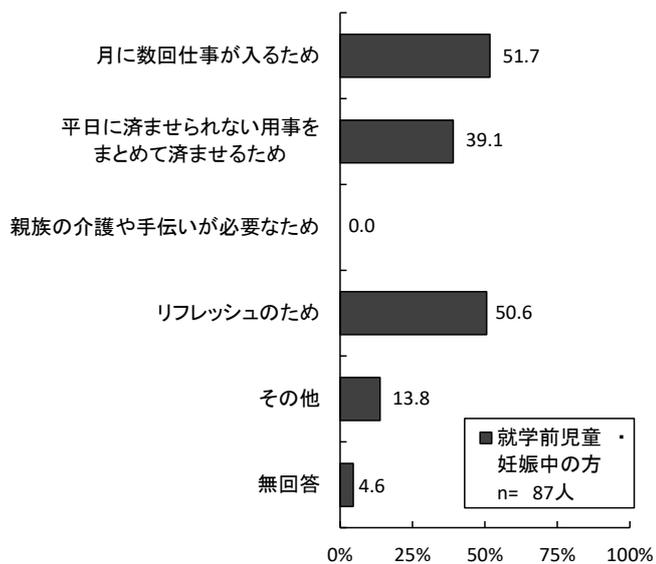
問 20(2).1 日曜・祝日の利用希望開始時間

問 20(2).2 日曜・祝日の利用希望終了時間



土曜・日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」方の理由は、「月に数回仕事が入るため」(51.7%)、「リフレッシュのため」(50.6%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(39.1%)が多くなっています。

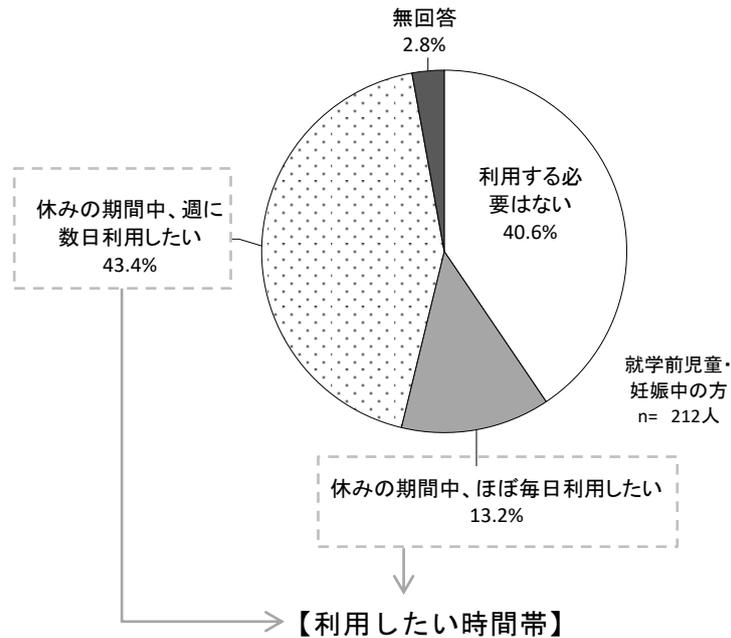
問 20-1 土曜・日曜・祝日に「月に1～2回は利用者したい」方の理由



長期休暇中において教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（43.4%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（13.2%）と、56.6%の利用希望があります。

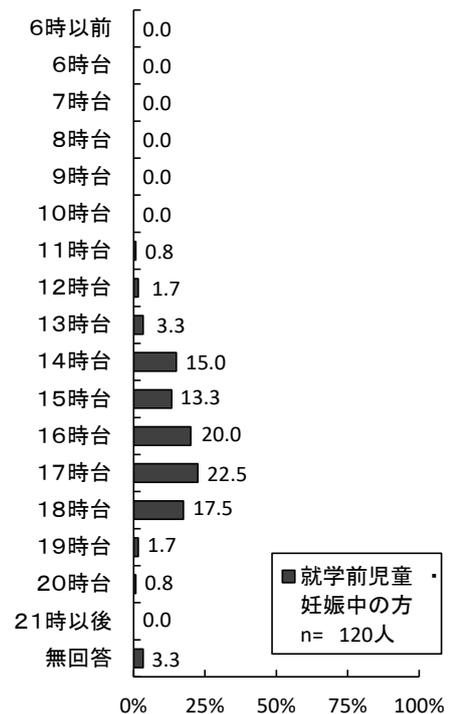
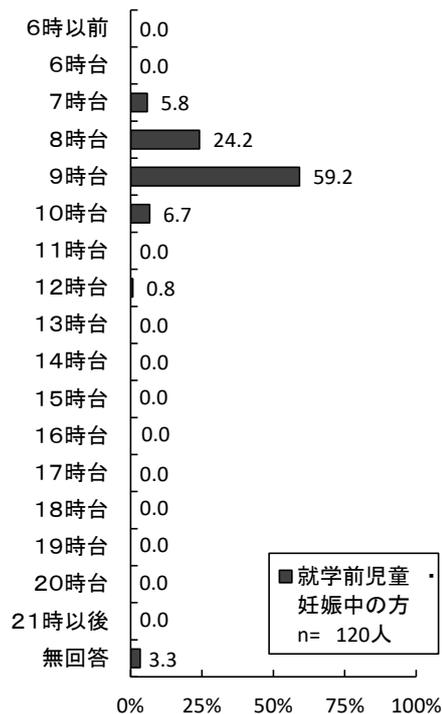
また、希望する開始時間は、「9時台」（59.2%）、終了時間は「17時台」（22.5%）が最も多くなっています。

問 21 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）



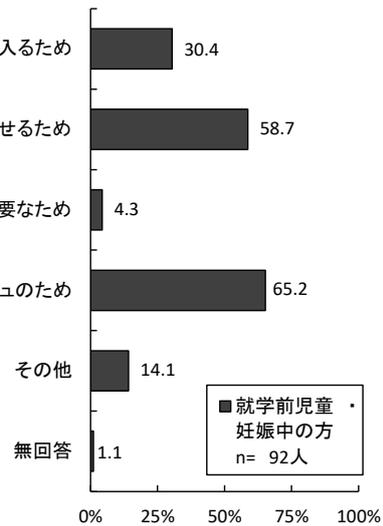
問 21.1 長期休暇中の希望開始時間

問 21.2 長期休暇中の希望終了時間



長期休暇中において「週に数日利用したい」方の理由は、「リフレッシュのため」(65.2%)、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」(58.7%)、「週に数回仕事が入るため」(30.4%)が多くなっています。

問 21-1 長期休暇中「週に数日利用したい」方の理由

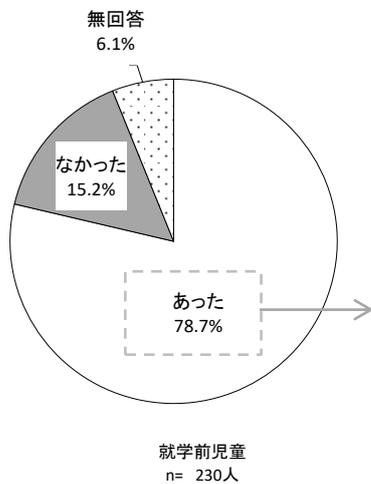


(9) 病児・病後児保育事業の利用意向

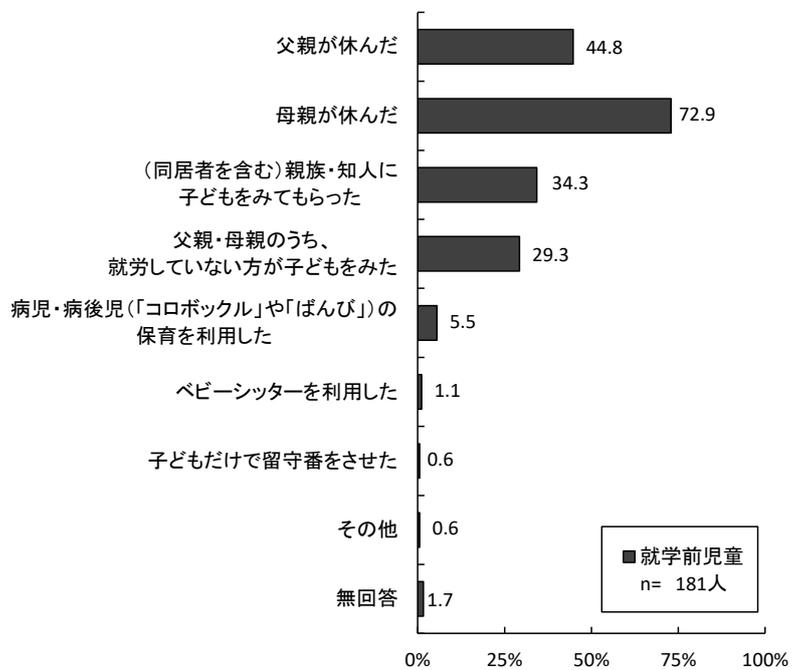
就学前児童の病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことの有無は「あった」(78.7%)となっています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(72.9%)、「父親が休んだ」(44.8%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(34.3%)となっています。

1年間で父親が休んだ日数は、「3日」(19.8%)、「5日」(18.5%)、「1日」(16.0%)
 母親では、「10日」(18.9%)、「5日」(13.6%)、「16—20日」(9.8%)となっています。

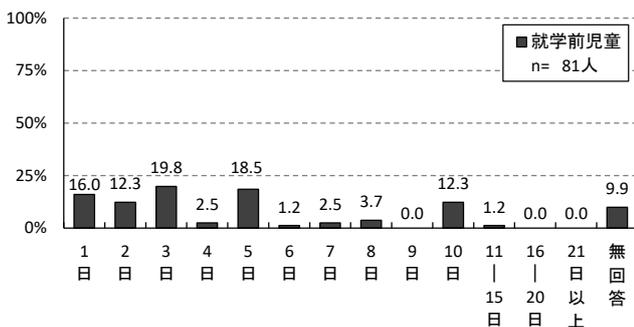
問 22 病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことの有無 (就学前児童)



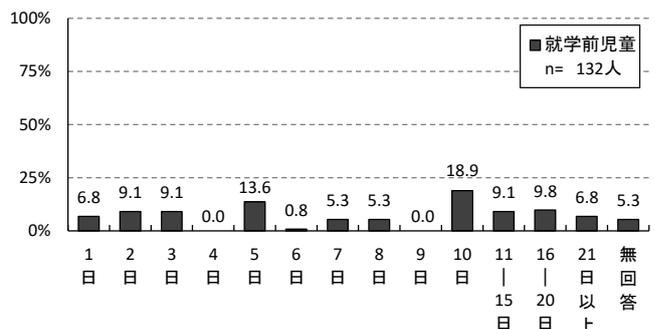
問 22-1 この1年間の対処方法 (就学前児童)



問 22-1.1 父親が休んだ日数 (年間)



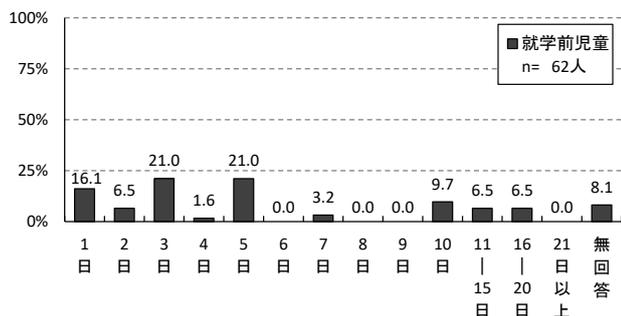
問 22-1.2 母親が休んだ日数 (年間)



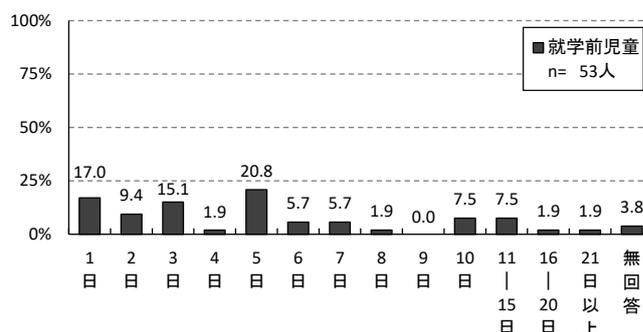
(同居者を含む) 親族・知人に預けた日数は、「3日」「5日」(各21.0%)、「1日」(16.1%)、就労していない保護者がみた日数は、「5日」(20.8%)、「1日」(17.0%)が多くなっています。

病児・病後児保育を利用した日数は、「3日」(30.0%)、「10日」「11-15日」(各20.0%)、ベビーシッターでは「5日」(100.0%)が多くなっています。

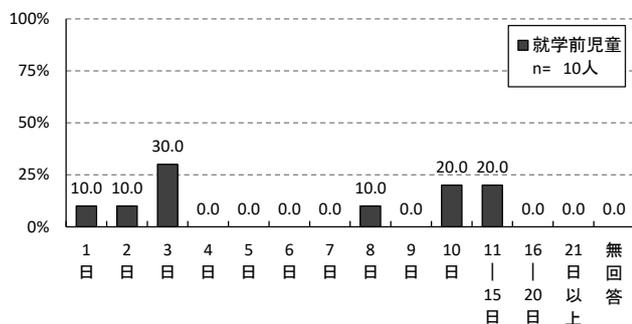
問 22-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数



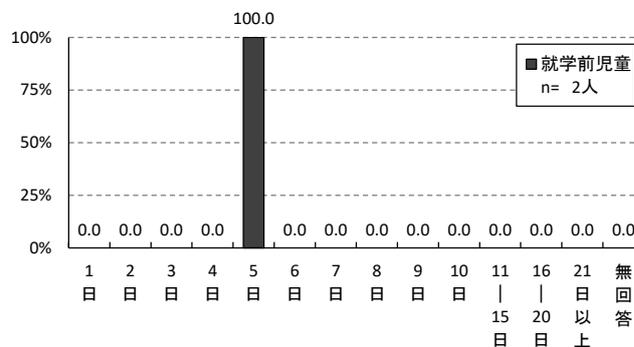
問 22-1.4 就労していない保護者がみた日数



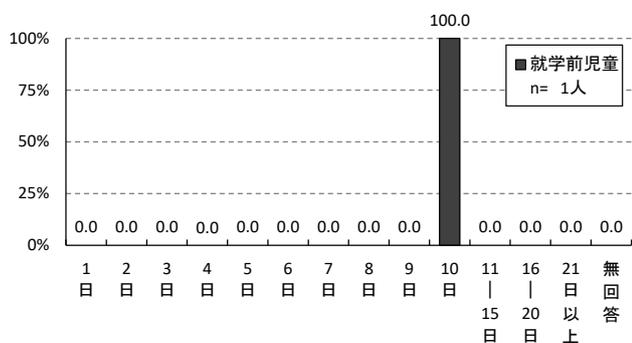
問 22-1.5 病児・病後児保育を利用した日数



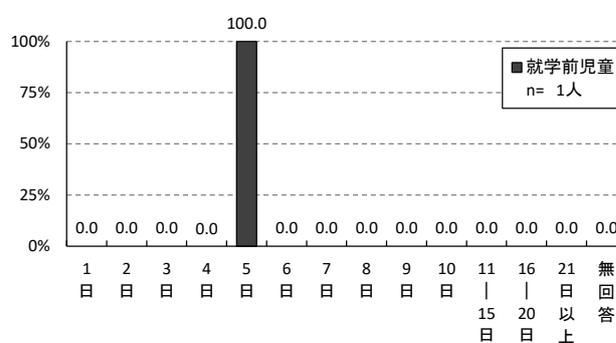
問 22-1.6 ベビーシッターを利用した日数



問 22-1.7 子どもだけで留守番させた日数



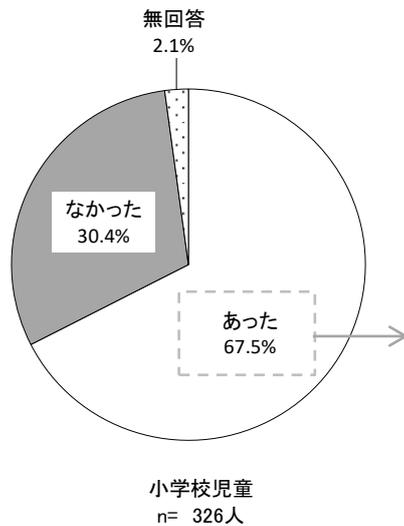
問 22-1.8 その他



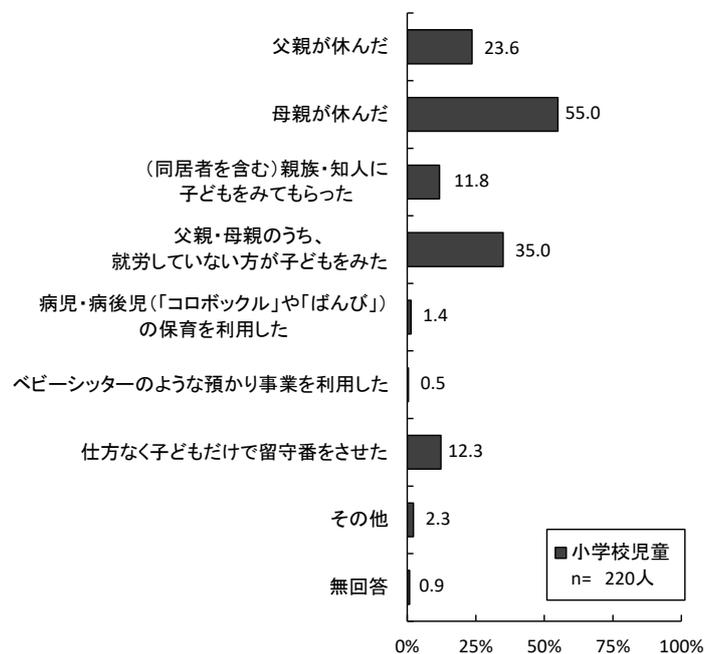
小学校児童の病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことの有無は「あった」(67.5%)となっています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(55.0%)、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」(35.0%)、「父親が休んだ」(23.6%)が多くなっています。

父親が休んだ日数は、「1日」「2日」(各30.8%)、「3日」(11.5%)、母親では「1日」(20.7%)、「2日」(18.2%)、「3日」(17.4%)が多くなっています。

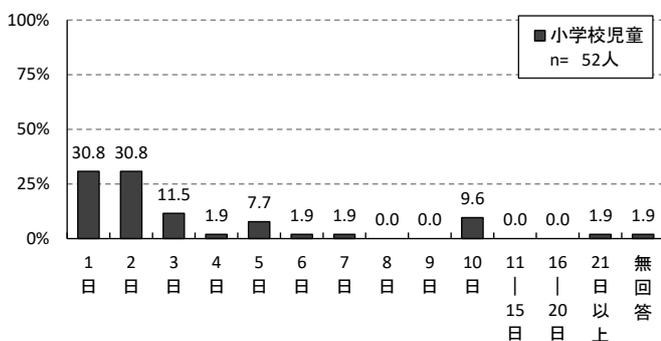
[問 14] 病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことの有無 (小学校児童)



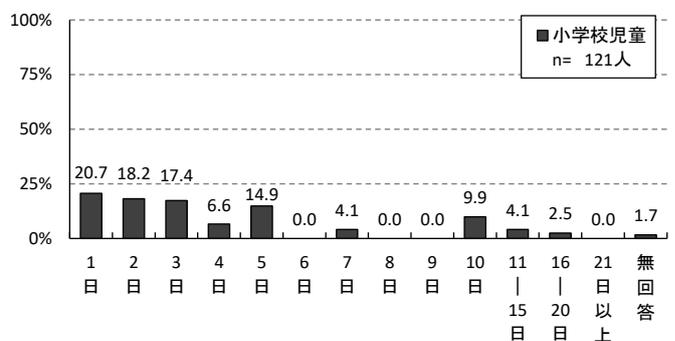
[問 14-1] この1年間の対処方法 (小学校児童)



[問 14-1].1 父親が休んだ日数 (年間)



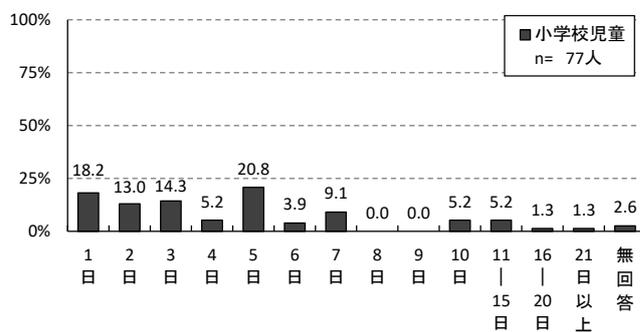
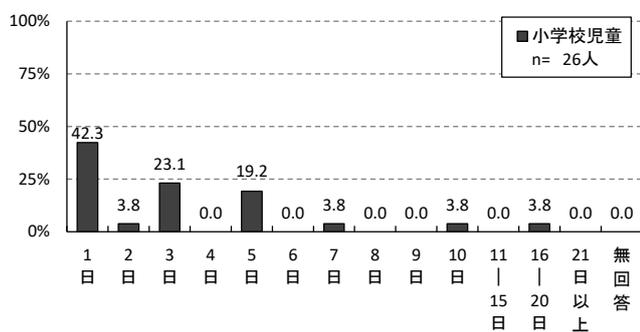
[問 14-1].2 母親が休んだ日数 (年間)



(同居者を含む)親族・知人に預けた日数は、「5日」(20.8%)、「1日」(18.2%)、「3日」(14.3%)の順、就労していない保護者がみた日数は「1日」(42.3%)、「3日」(23.1%)、「5日」(19.2%)が多くなっています。
 子どもだけで留守番をさせた日数は、「1日」(59.3%)、「2日」「3日」(各11.1%)となっています。

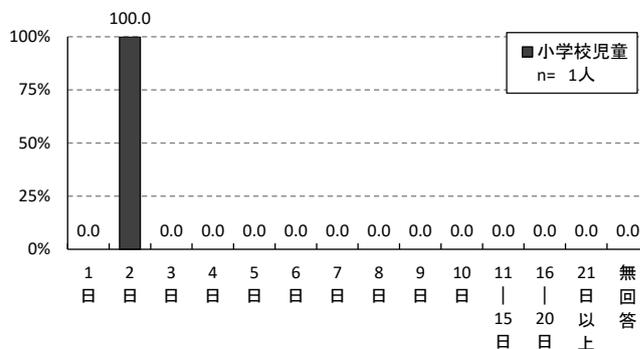
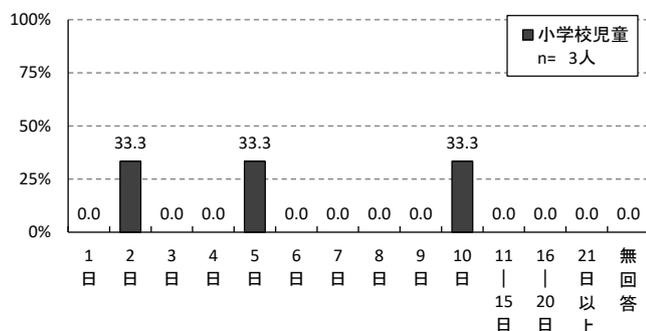
[問 14-1].3 (同居者を含む)親族・知人に預けた日数

[問 14-1].4 就労していない保護者がみた日数



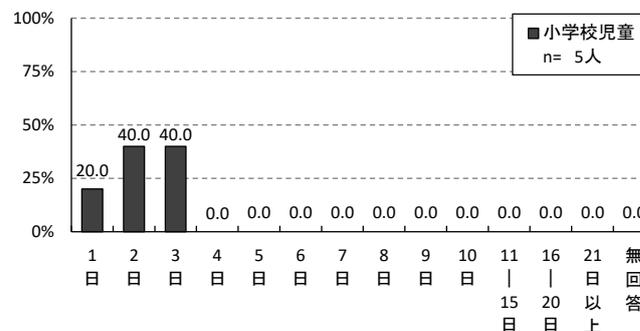
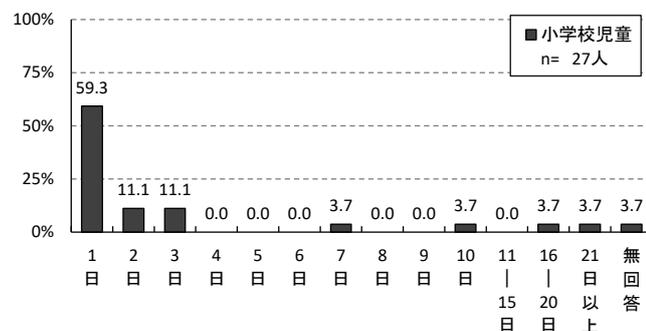
[問 14-1].5 病児・病後児保育を利用した日数

[問 14-1].6 ベビーシッターを利用した日数



[問 14-1].7 子どもだけで留守番させた日数

[問 14-1].8 その他

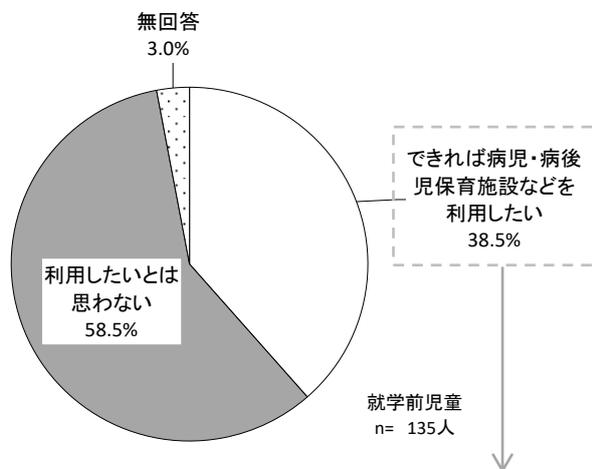


就学前児童の父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向は、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」(38.5%)となっており、その利用日数は「5日」(30.8%)、「10日」(23.1%)が多くなっています。

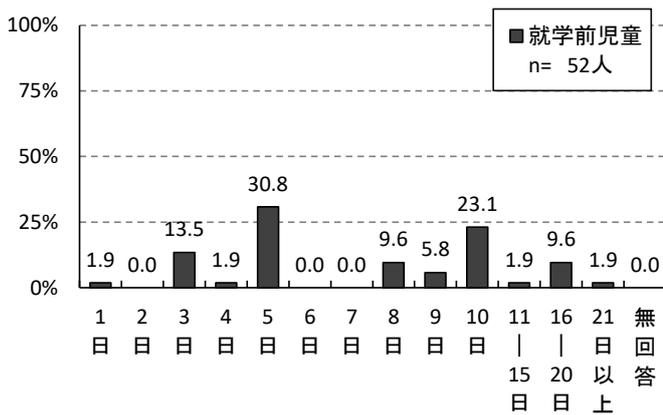
子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(92.3%)、「単独の病児・病後児保育施設」「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(各67.3%)が多くなっています。

問 22-2 父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設利用意向

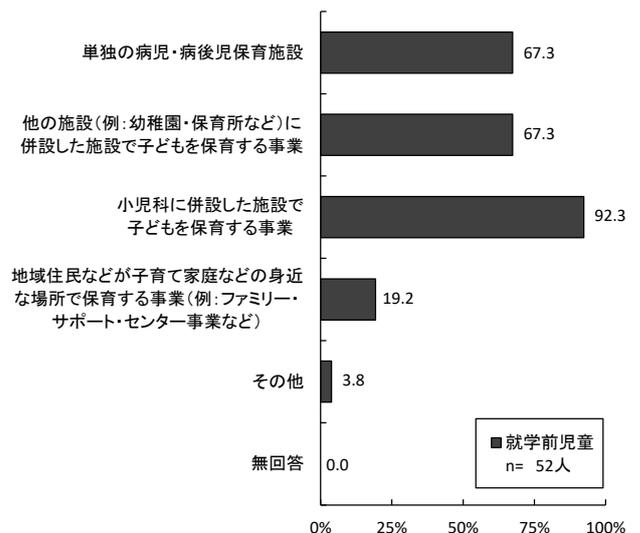
【就学前児童】



問 22-2.1 問 22-3 子どもを預ける場合の望ましい希望日数（年間）と事業形態



【病児・病後児保育施設の希望年間利用日数】



【子どもを預ける場合の希望事業形態】

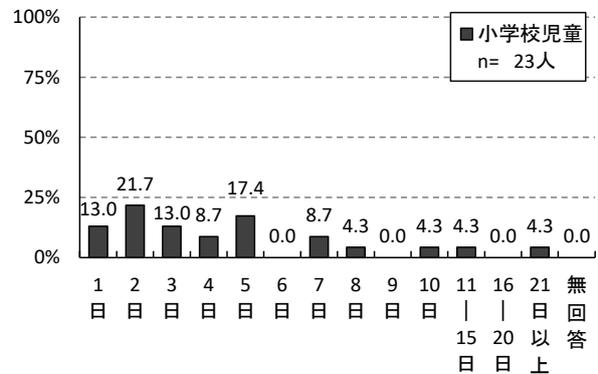
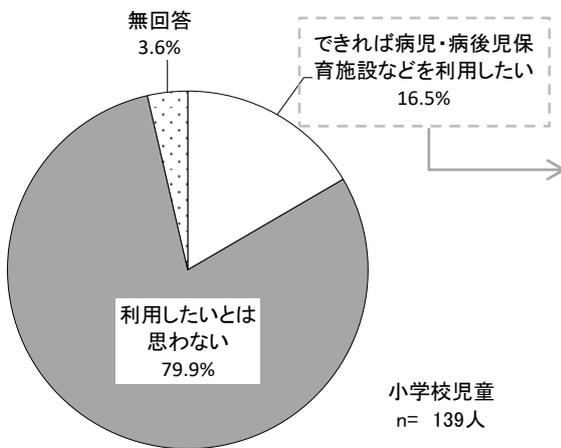
小学校児童の父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向は、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」(16.5%)となっており、その利用日数は「2日」(21.7%)、「5日」(17.4%)が多くなっています。

就学前児童の病児・病後児保育施設の利用意向のない方の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(59.5%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(53.2%)となっています。

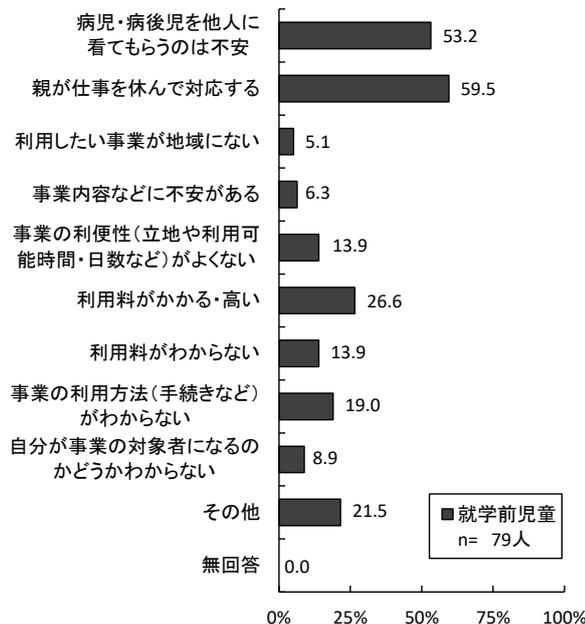
[問 14-2] 父親・母親が休んだ方、親族がみた方の病児・病後児保育施設利用意向

【小学校児童】

[問 14-2].1 子どもを預ける場合の希望日数（年間）



問 22-4 病児・病後児のための保育施設利用意向のない方の理由（就学前児童）

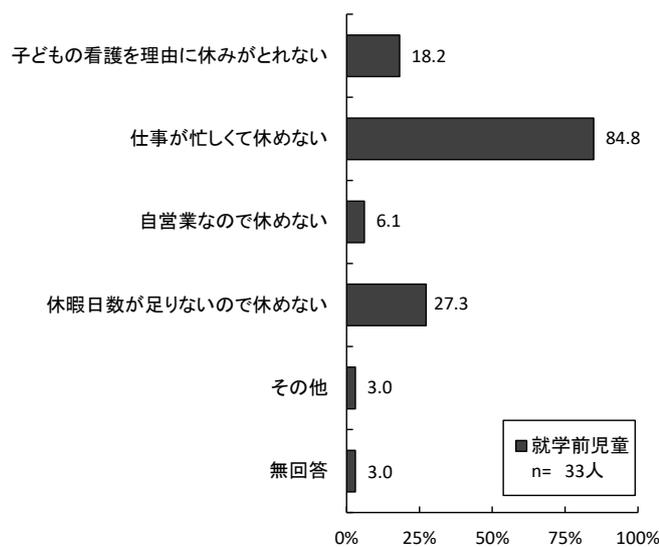
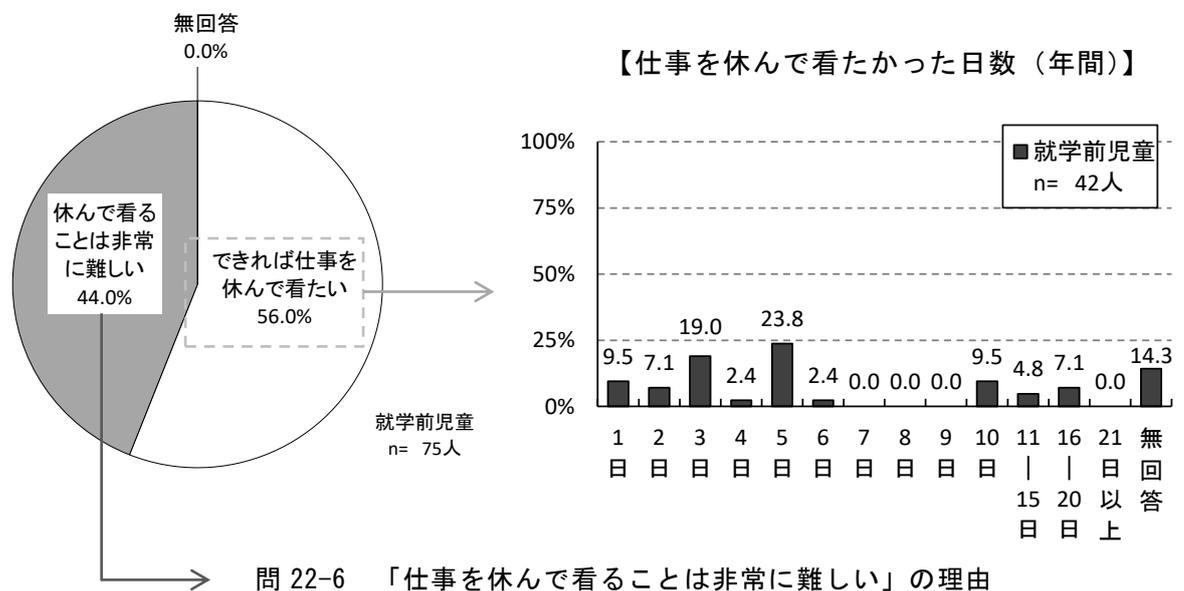


父親・母親が休む以外の対処方法を選んだ方の父母が休んで看たい意向は「できれば仕事を休んで看たい」(56.0%)、「休んで看することは非常に難しい」(44.0%)となっています。

できれば仕事を休んで看たい方の希望日数は「5日」(23.8%)、「3日」(19.0%)が多くなっています。

休んで看することは非常に難しい方の理由は「仕事が忙しくて休めない」(84.8%)、「休暇日数が足りないので休めない」(27.3%)となっています。

問 22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

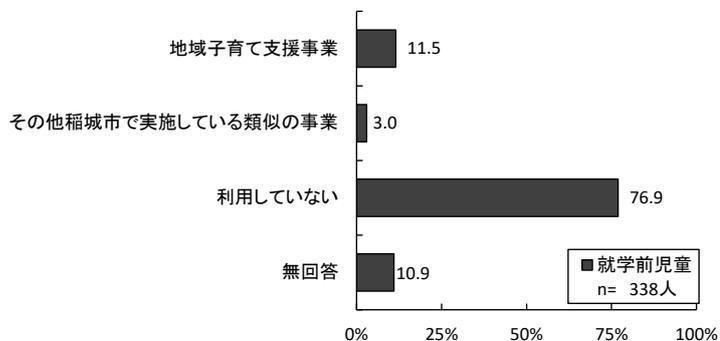
(1) 地域子育て支援事業の利用について

地域子育て支援事業の利用状況は、「地域子育て支援事業」(11.5%)、「その他稲城市で実施している類似の事業」(3.0%)となっています。

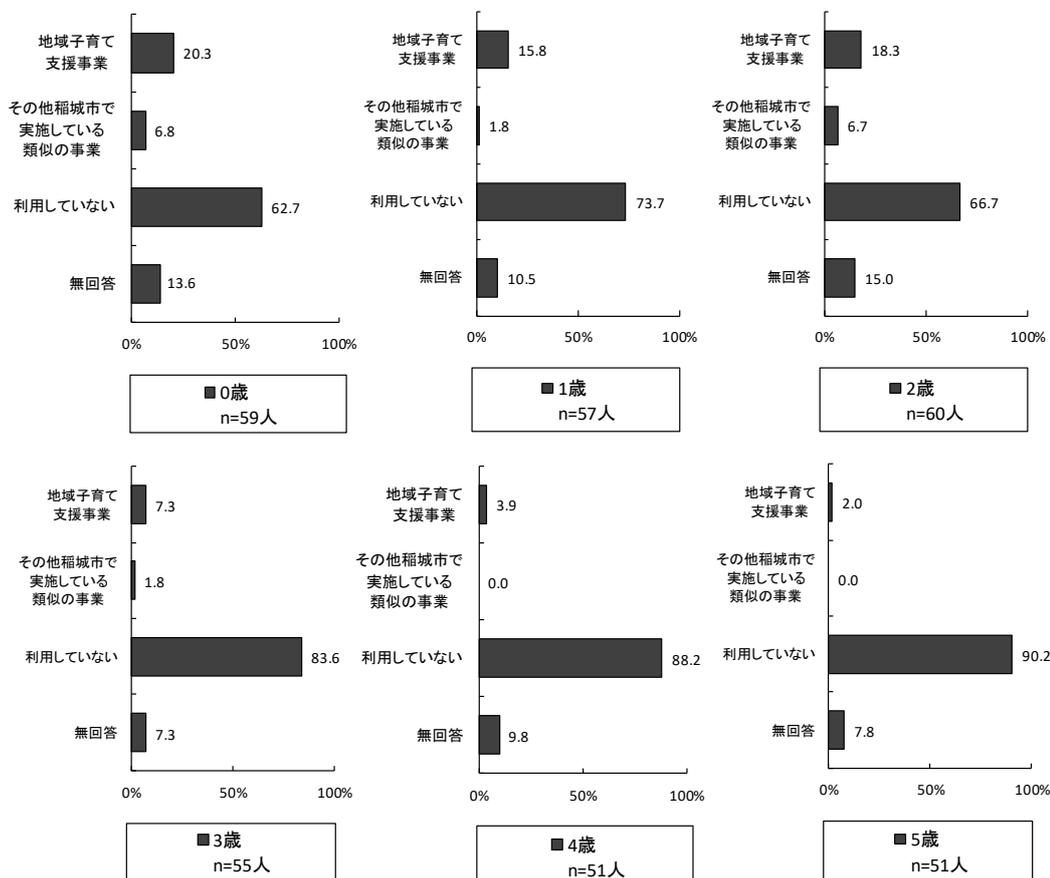
地域子育て支援事業の利用回数(1週当たり)は、「1回」(43.8%)が最も多くなっています。

その他稲城市で実施している類似の事業の利用回数(1週当たり)は、「1回」(100.0%)が最も多くなっています。

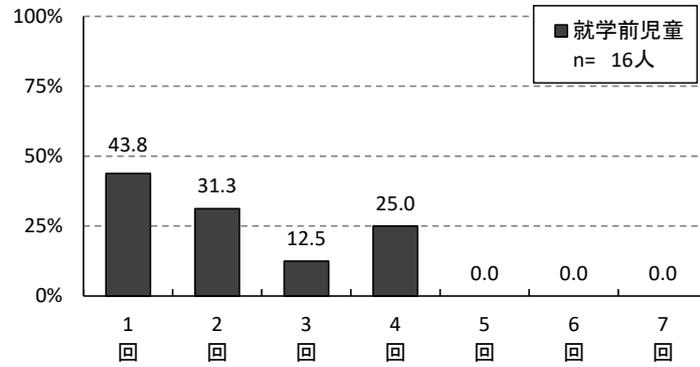
問 18 地域子育て支援事業の利用状況



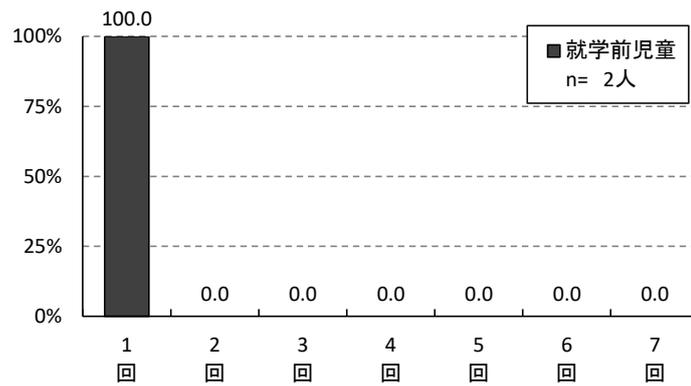
年齢別利用状況



問 18.1.1 地域子育て支援事業の利用回数（1週当たり）



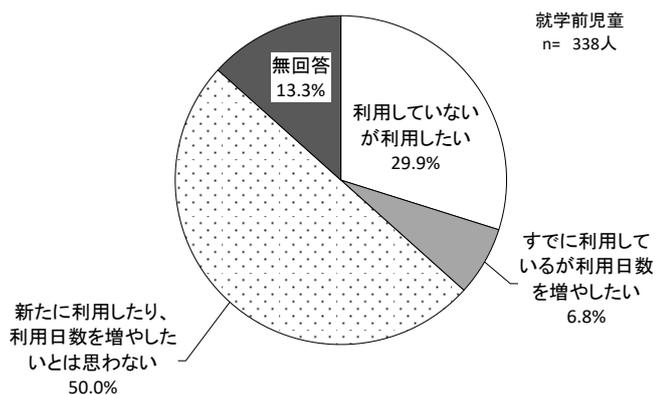
問 18.1.2 その他類似事業の利用回数（1週当たり）



「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(50.0%)、「利用していないが利用したい」(29.9%)となっています。

未利用者の希望利用回数(1週当たり)は、「1回」(63.0%)が最も多くなっています。また、利用者の増やしたい利用回数(1週当たり)は、「1回」(72.7%)、「2回」(18.2%)となっています。

問 18-1 未利用者・利用者の利用及び利用回数増加希望



【年齢別(0~2歳)の利用希望】

